



昆虫の不合理な行動を 適応から読み解く

鈴木 紀之 博士

(東北大学東北アジア研究センター保全生物学分野 特別研究員)

- ・ 2013年12月13日 (金)
15:00-17:00
- ・ 筑波大学総合研究棟 A107号室
- ・ 老若男女・研究者・学生・院生
誰でも参加できます
(終了後に懇親会も予定しております)



生物の世界はまだまだ不思議かつ未解明な事象に満ち溢れており、私たちが魅了し続けている。その生き物の生態や行動の進化のなぞに迫り、それを読み解こうとする人たちがいる。

東北大学の鈴木紀之博士は、チョウやテントウムシといった身近な生き物を用いて、繁殖をめぐる種間での干渉や、繁殖形質の進化について研究を行ってきた、進化生態学分野における新進気鋭の研究者の一人である。一方で、生態学・進化生物学・動物行動学の知見を、「わくわく感」とともに分かりやすく伝えることを目指して、子供たちへ熱心に環境教育活動を行っている。そんな彼からは自身の研究に加えて、これから研究者を目指す大学生、現在研究を行っている大学院生に、「研究の醍醐味」と「研究者とは何か？」についても熱く語っていただく。

問合せ先：横井智之 (筑波大学 生命環境系)

(Tel:029 853 7282, e-mail:tomoyoko@envr.tsukuba.ac.jp)

本事業の詳細に関してはWebをご覧ください。

(<http://ttweb.sec.tsukuba.ac.jp/>)